

# 平成31年度 収支予算書



社会福祉法人 綾町社会福祉協議会

# 平成 31 年度事業計画

## 1 目 標

- 「思いやりと温もりのある社会福祉の町づくり」
- 「自立と連帯で支え合い・助け合う地域づくり」
- 「親子三世代の絆で安心して暮らせる町づくり」

## 2 基本方針

少子高齢化が進行する中、人間関係の希薄化等を背景に、家族や地域を取り巻く環境も複雑・多様化し、生活困窮や社会的孤立、子どもの虐待等も社会的に大きな福祉課題となっており、また、近年、地震や台風、豪雨等自然災害が多発しており、地域での日頃の助け合い支え合い「共助」が重要視されています。

社会福祉法人制度の中では、「地域における公益的な取組を実施する責務」がうたわれ、ケアハウス及びデイサービスセンターの 2 施設が「みやざき安心セーフティネット事業」に参加し、生活困窮者への自立に向けた支援を行っております。合わせて、新たに共同募金を活用した緊急時支援用の食糧の備蓄を図り、行政及び民生委員児童委員と連携し、生活困窮者等への支援に向けて取り組んでまいります。

介護保険制度においては、介護予防・日常生活支援総合事業の取組みの一環として、高年者研修センターにおけるミニデイサービス「リアン」の充実とともに、専門職による短期集中予防サービス事業の本格始動に向けて取り組んでまいります。

高齢者支援につきましては、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を見据え、本会が業務運営しておりますデイサービス、ケアハウス、居宅介護支援、外出支援バス、お達者クラブ、高年者研修センター等の各事業が一体となり、行政や民生委員児童委員、高年者クラブ等と連携・協働して地域福祉の推進に努めてまいります。

特に、地域の高齢者の方が集い・ふれあいの場となる高年者クラブやお達者クラブが、高齢化や役員のなり手不足等により解散や休止となっている状況があり、地域の日頃のコミュニケーションの大切さ、楽しさが実感できるよう配慮し、「組織化＝共助」につながるよう取り組んでまいります。

子育て支援につきましては、児童館及び児童クラブ事業を通じて、行政や学校、民生委員児童委員等との連携を図り、児童福祉の推進に努めてまいります。

各事業を実施するにあたって、職員の福祉に関する資格取得の支援を図って、人財の育成につなげ、福祉サービスの向上に努めてまいります。

## 3 重点事項

### (1) 地域福祉の積極的推進

- ①民生委員児童委員との連携強化による福祉ニーズの把握と福祉活動
- ②ふれあいイキイキサロン事業（お達者クラブ）の推進
- ③高年者研修センター及び外出支援バス運営の充実

- ④生活困窮者等に対する相談支援事業の充実（みやざき安心セーフティネット事業＋緊急時支援用食糧備蓄、生活福祉資金等）
- ⑤日常生活自立支援事業の推進（認知症高齢者、知的・精神障がい者等への書類預かり等生活支援サービス）
- ⑥社会福祉大会及び広報活動の推進
- ⑦社会福祉団体や関係機関との連携による地域ネットワークづくり

## （２）在宅福祉の充実

- ①介護機器の短期貸出しによる在宅介護支援の充実
- ②居宅介護支援事業運営の充実（ケアプランによる自立支援）
- ③ケアハウスうるおいの里管理運営の充実（快適な居住環境の提供）
- ④デイサービス事業運営の充実（新しい総合事業への移行対応）
  - ア 通所介護事業
  - イ 介護予防・生活支援事業
    - ・総合事業
    - ・短期集中予防サービス事業（通所型サービスＣ）の本格始動
  - ウ 自立総合支援事業（ミニデイサービス「リアン」運営）
- ⑤訪問給食（配食サービス）事業運営の充実

## （３）福祉団体への活動支援

- ①高年者クラブ組織体制の強化に向けた支援
- ②赤十字奉仕団及び遺族会への支援
- ③障がい者団体、その他地域における福祉活動団体への支援

## （４）児童福祉の推進

- ①行政、学校、保育所、民生委員児童委員等との連携による児童の健全育成と支援
- ②児童館及び放課後児童健全育成事業管理運営による児童福祉の支援

## （５）各種募金活動等の積極的な推進と福祉活動への財源確保

- ①赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の推進
- ②赤十字会員の拡大等による会費の確保
- ③社会福祉協議会一般会員・特別会員の拡大による会員費の確保
- ④共同募金による生活困窮者等に対する緊急時支援用食糧備蓄

## （６）ボランティア活動の育成

- ①助け合い支え合う地域社会を目指したボランティアセンター活動事業の積極的な推進
- ②高齢者の介護予防・認知症予防への支援（高年者クラブシルバーボランティア、お達者クラブサロンサポーター等の育成支援）

## （７）医療・保健・介護・福祉の連携活動

- ①医療・保健・介護・福祉機関等との連携による福祉活動
- ②地域包括ケアシステム構築への参画・協働

## （８）適正な法人経営の運営

- ①効率的な事務処理と財源の適正な管理執行
- ②福祉人財の育成のための資格取得の支援
- ③福祉人財の確保による福祉サービスの向上

## 平成31年度 資金収支予算書

(単位:円)

1頁

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減額	摘 要
会費収入	1,196,000	1,196,000	0	
寄附金収入	1,560,000	1,560,000	0	
経常経費補助金収入	35,064,000	34,787,000	277,000	
受託金収入	85,669,000	82,514,000	3,155,000	
事業収入	8,563,000	8,443,000	120,000	
負担金収入	13,188,000	12,240,000	948,000	
介護保険事業収入	43,982,000	44,531,000	△549,000	
みやざき安心セーフティネット事業収入	200,000	200,000	0	
受取利息配当金収入	10,000	15,000	△5,000	
その他の収入	248,000	3,316,000	△3,068,000	
事業活動収入計(1)	189,680,000	188,802,000	878,000	
人件費支出	139,957,000	143,510,000	△3,553,000	
事業費支出	41,377,000	40,198,000	1,179,000	
事務費支出	10,812,000	11,764,000	△952,000	
共同募金配分金事業費	1,321,000	1,099,000	222,000	
分担金支出	80,000	81,000	△1,000	
負担金支出	10,000	10,000	0	
その他の支出	2,000	112,000	△110,000	
事業活動支出計(2)	193,559,000	196,774,000	△3,215,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△3,879,000	△7,972,000	4,093,000	
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
固定資産取得支出	131,000	646,000	△515,000	
施設整備等支出計(5)	131,000	646,000	△515,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△131,000	△646,000	515,000	
積立資産取崩収入	5,001,000	2,000	4,999,000	
その他の活動による収入	2,000	8,671,000	△8,669,000	
その他の活動収入計(7)	5,003,000	8,673,000	△3,670,000	
積立資産支出	2,000	2,000	0	
その他の活動による支出	6,364,000	5,891,000	473,000	
その他の活動支出計(8)	6,366,000	5,893,000	473,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,363,000	2,780,000	△4,143,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△5,373,000	△5,838,000	465,000	
前期末支払資金残高(12)	14,021,000	19,851,000	△5,830,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	8,648,000	14,013,000	△5,365,000	